

講義名	観光政策論		
科目区分	学部フリーゾーン		
担当教員	辻本 千春		
開講期・曜日・時限	前期 火曜日 4時限		
	2018年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2018年度 人間社会学部 観光学科 / 2018年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2018年度 経済学部 経済情報学科 / 2018年度 経済学部 経済学科 / 2018年度 商学部 マーケティング学科 / 2018年度 商学部 経営学科 / 2017年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2017年度 人間社会学部 観光学科 / 2017年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2017年度 経済学部 経済情報学科 / 2017年度 経済学部 経済学科 /		
履修開始年次	2年生	単位数	2
		講義コード	24082

主題と概要

今観光は社会から注目を浴びています。日本をリードする新しい産業がなかなか生まれてこない中、観光という日本が誇るべき資源が脚光を浴びています。観光政策論は観光学という専門分野学習のスタートラインにある科目のひとつとして「概略」を理解することになりますが、わが国がどのような観光政策を実施しているかは観光白書に網羅されています。

この科目では大きく4つの視点からテーマを設定して授業を進めます。一つは、観光政策の変遷、現状について歴史的な背景も含めて学びます。二つ目は観光の地域への影響、実施方法・計画や事業としての実際を学びます。三つ目は、海外の先進事例から日本のこれからまな参考になる政策について学びます。4つ目は、学ぶだけでなく、神戸という観光都市をケーススタディーとして取り上げて一緒に考えます。

観光政策論は経済論・産業論であると同時に国土づくりに係わることであることを念頭に置いて履修してください。

到達目標

- | | |
|----------|---|
| a. 知識・理解 | ・観光政策の定義について説明できる。
・観光政策の歴史的変遷について述べることができる。 |
| b. 思考・判断 | ・観光政策の政策全体における位置づけを理解し、その課題について説明できる。 |
| c. 関心・意欲 | ・日本の観光政策を海外のそれと比較して述べるができる。 |
| d. 技能・技研 | ・学んだことを自らのキャリア形成に関連付けることができる。 |
| e. その他 | ・学んだ観光マネジメントの手法を身近な観光関連産業に当てはめて考えることができる。 |

提出課題

- ・毎回、小レポート（課題）を課します（出席確認を兼ねる）。
- ・講義の中間時に確認小テストを行います。

評価の基準

- ・授業回数の3分の1（5回）を欠席すると定期テスト（あるいはレポート提出）の受験資格はありません。
- ・平常点40%（毎回の課題を含む）、定期試験（またはレポート）60%（中間確認小テストを含む）とし、総合評価とします。なお、欠席、遅刻等は減点とします。

履修にあたっての注意・助言他

- ・座席指定をします。
- ・私語、携帯いじり、途中退室、遅刻などは禁止です。
- ・教室内での着帽、サングラス、メイク、携帯充電などは許可しません。
- ・授業中に何度か注意をしても改善されない場合は、定期テストの点数が無効になります。

教科書

・使用しない。

プリント資料及び参考文献

- ・必要に応じて配布します。
- ・参考文献：『観光白書2019』

授業計画

- はじめに
- わが国の観光政策概観 1
観光政策の意義、変遷
- わが国の観光政策概観 2
観光立国推進基本計画
- 観光政策実現のプロセス
- 観光が地域に与える影響 1
経済効果の功罪
- 観光が地域に与える影響 2
社会的、文化的な効果や悪影響について
- インバウンド政策の現状
- 観光と自然保護
- 神戸市の観光政策
観光モデルコースを中心とした都市観光整備やプロモーションの実際
- 海外の観光政策 1
ヨーロッパの事例
- 海外の観光政策 2
アジアの事例
- 神戸市都市観光フィールドワーク発表
09の講義に基づき、受講者が神戸都市観光の実態を検証
- 観光統計
観光政策立案の根拠となる各種観光統計の現状や問題点
- 観光政策推進の課題と展望
オーバーツーリズム
- まとめ

予習・復習

- ・「観光白書」はよく読んでおいてください。
- ・復習はレジメに基づいて、しっかり行ってください。

備考

なお、神戸市の都市観光プロモーション09&12は外部講師の都合によりスケジュールは変更になることがあります。